

持経宿、平治宿、行仙宿の台風対策

◇実施日 8月6日(日) 雨

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、湯川一郎 3名

台風6号は沖縄県あたりでほぼ停滞している。紀伊半島への直撃は無さそうだが、台風の進路が気になる。せめて行仙宿小屋の雨戸だけでも閉めておきたいと思い、梶野君に電話すると、持経宿、平治宿も2ヶ月以上行ってないので持経、平治に行ってから行仙に行こう、と提案された。池郷林道の状態も気がかりだが、台風が来てからでは遅いので持経、平治に行くことになった。



持経宿に着く

平治宿に到着

シートを被せる

午前9時半前にスポーツ公園園駐車で合流し池郷林道に入る。途

中の工事で車両の乗り入れがある為か、ゲートまでは落石も殆ど無くスムーズに走行することが出来た。

ゲートから上もいつもの状態で、3回だけ落石を除けて、55分ほどで持経宿に到着した。

小屋手前の林道脇に土嚢袋が30袋ほど置かれている。村吉さんが置いたと思われるが、平治宿まで運ぶのか、それとも途中の径改修に使うのか、どちらにしてもかなりの数だ。

小雨が降り続けているが、たいして強くは無い。雨具を着用する。2年ほど前に購入したポンチョに初めて袖を通す。湯川君は「暑い」と雨具を付けずに歩きだした。

平治宿まで約1時間、その間の奥駆道に異常はまったくない。奥駆道の自然林にはガスがかかり幻想的な景色が広がる。この区間はどの季節に歩いても大峯らしい景観だ。



屋根を点検

小屋内を点検

千年桧お堂

平治宿到着後、窓などの戸締りを確かめる。玄関右手の丸太や杭

を積み上げている所に被せたシートが外れ、丸太や杭が散らかっていた。積み直してシートを被せ重しを複数置いた。

志納箱に開けようとした痕跡があり、数年前の事を思い出した。雨で道にも水たまりが出来て、水場も流れていることが確実なので水場の確認にはいかなかった。

20分ほど平治宿に滞在して持経宿に戻る。途中、千年松のお堂で櫓を交換、12時40分に持経宿に着いて昼食を摂る。



持経宿に戻る

本日の参加者

スポーツ公園駐車場着

窓の戸締りを確認、小屋周りに風で飛ばされそうなものが無いかを確かめた。お堂の櫓も取り替えてスポーツ公園駐車場に向かう。

50分弱でスポーツ公園駐車場に着いて沖崎、湯川の2名は帰宅。梶野君が一人で行仙宿に向かった。

(記：沖崎)

スポーツ公園駐車場で二人と別れ行仙宿登山口に向かう。特別雨が強くなることは無く、いつもと同じような時間で登山口に着いた。



行仙宿に着く

管理棟の確認

小屋東側の窓

モノレールで終点まで登り、傘をさして歩きます。第2ベンチ位から雨が止み傘は必要なくなりました。



雨戸を降ろす

下山

30分ほどで行仙宿に着き、お堂、管理棟、小屋の順に戸締り確認

を行う。最後に東側の雨戸を降ろして下山した。
帰宅後アメダスの降水量を見ると、6日の午後5時ごろから本格的
に降り出し、翌7日に200mmを越える雨が降っていた。

(記：梶野)

行動タイム

スポーツ公園駐車場09：25→10：20 持経宿→11：26 平治宿 11：
45→12：39 持経宿 13：12→14：00 スポーツ公園駐車場→14：
45 補給路登山口→15：15 行仙宿 15：35→16：00 補給路登山口